

平成27年度施策評価シート

基本情報	コード	名称	担当部署	コード	名称	連絡先
	13	子どもを安心して産み、育てられるまちづくり		130700	健康福祉部こども家庭課	0595-22-9658
	施策	1301 地域における子育て支援事業の充実	評価責任者・役職名	健康福祉部 部長 増田 基生		
	再生の視点(何を、どうする)	<ul style="list-style-type: none"> 子育て中の保護者が、子育てと就労との両立が図れるよう、子育て支援サービス事業について啓発し、市民に周知するとともに、地域で子育ての見守りができる体制及び個々の利用者のニーズに合った支援体制により、安心して育てられるまちづくりを推進していきます。さらに、子育て支援事業の中で、遊びを通して家庭の中での子どもとの接し方を学んでもらうことで、子育て力を強化します。 多様な保育ニーズに対応できるよう、保育サービスのより一層の充実を図ります。 				
施策の方向	親の子育て上の負担感や悩みを軽減できるよう、地域の互助活動による子育て支援サービスを充実させるとともに、地域ぐるみで子どもと子育て家庭を見守り、支援し、正しい情報を提供できる体制・ネットワークづくりを進めます。 また、子どもや保護者にとって安心・安全な環境の中での保育を行うため、老朽化の進んだ保育所(園)の大規模な改修、修繕や地域の状況に応じた統廃合を計画的に進めます。					

指標	成果指標名	指標の説明	現状値(平成25年度)	平成26年度	平成27年度	平成28年度
	子どもを産み育てやすい環境や支援が整っていると思う満足度(%)	まちづくりアンケート(子どもを産み育てやすい環境や支援が整っていると思う市民の満足度の割合)	31.7	目標 30.0 実績 30.0	30.0	35.0

改善・取組方向	平成26年度	平成27年度
	前年度の取組内容と残された課題 (平成25年度の取組内容と残された課題) 子育てに関する情報発信や地域で子育ての見守り、支援を行うため、「子育て包括支援センター」を子育て支援の拠点施設として取り組みます。また、質の高い保育提供に加え、低年齢児(3歳未満児)の受入体制など安全で安心した保育環境の確保に取り組みます。また、放課後児童クラブについては、地域ニーズに対応した設置に向け取り組んでいきます。	(平成26年度の取組内容と残された課題) ○3歳未満児の待機者(平成27年4月現在 0名) ○放課後児童クラブについては、住民ニーズの把握をしながら、基本的には1小学校区に1ヶ所が必要と考えます。 (平成26年度 3箇所設置 合計17ヶ所) ○ファミリーサポートセンターについては、平成27年度から行政機関の拠点としている「子育て包括支援センター」において、市直営で実施することとなりました。 (平成26年度利用者数 延べ950名 会員数390名) ○保育料については、「子ども・子育て支援法」が本年4月に施行され、利用者負担額の規制緩和を図るために、第1子が18歳未満の第3子に対し、3割軽減を行うこととしました。 ○第3子の保育料無料化については、引き続き、関係部署との協議・調整を行っていきます。 ○老朽化が進み耐震基準を満たしていない「しろなみ保育所」の建替を行いました。 ○病児・病後児保育利用者数(210名) ○心身障がい児療育人数(かしのみ園 31名) ○子育て包括支援センター ・プレイルーム開放参加者(1700組) ・子育て支援講座(キラキラ事業 参加者 1700組) ・出前講座(12箇所)
改善ポイントと具体的な取組	多様な保育ニーズに対応できるよう、保育サービスのより一層の充実を図ります。また、放課後児童クラブの充実を図っていきます。	多様な保育ニーズに対応できるよう、保育サービスのより一層の充実を図ります。また、放課後児童クラブの充実を図っていきます。

(続紙)

施策 1301

地域における子育て支援事業の充実

No	26 重点	27 重点	事務事業名	事業概要	コスト の方向	H26 決算見 込	H27 予算
01			子育て世帯臨時特例給付金 給付事業(01-03-01-01- 913-52)	消費税引上げに際し、子育て世帯に与える負担の影響に配慮した暫定的な給付 措置。	↓	112,306	39,034
02			児童福祉一般経費(01-03- 04-01-216-01)	心身に障がいのある児童を保育所で受け入れ、児童の健全育成を図ります。 また、病気の回復期にある児童を預かることで、保護者の子育てと就労の両立支 援を図ります。	↓	17,244	2,109
03			病児・病後児保育事業(01- 03-04-01-218-54)	病気の回復期にある児童を集団保育等が困難な期間、一時的に預かることによ り、保護者の子育てと両立を支援するとともに、児童の健全な育成を図ります。	新規	0	4,951
04			保育所通園バス運行管理運 営経費(01-03-04-01-216- 04)	長距離通園や自動車通園が困難な家庭に対しての通園バスの運行、管理を行 います。	↓	8,568	7,808
05			心身障がい児療育保育事業 (01-03-04-02-221-52)	心身に障害を有する乳幼児に適切な療育保育を行い、発達の促進と障害の軽減 を図り、社会生活への円滑な参加と健全な成長を促進し、福祉の増進を図りま す。	新規	0	10,868
06	2	2	放課後児童対策事業(01- 03-04-01-217-01)	学校の終了後等、共働きなどで保護者が家庭にいない小学生の児童を対象に、 選任の指導員が家族に代わって適切な遊びや生活の場を提供します。	↑	44,816	65,815
07			子育て支援センター費(01- 03-04-01-218-02)	乳児または幼児及びその保護者が相互の交流を行う場所を開設し、子育てにつ いての相談、情報の提供、助言その他の援助を行います。	↑	34,394	38,547
08	1	1	子育て包括支援センター費 (01-03-04-01-218-03)	家庭や地域における子育ての機能の低下や子育て中の親の孤独感や不安感の 増大等に対応するため、地域において子育て親子の交流等を促進する。また、 各支援センターの包括・調整を行います。	↑	4,689	6,210
09			ファミリーサポートセンター運 営事業(01-03-04-01-218- 51)	仕事の都合等で、保育所(園)や放課後児童クラブの終了時間までに迎えに行け ないときや、病気の回復期にある子どもの世話ができないときに援助を受けたい 人と援助を行いたい人が会員となり相互支援活動を行います。	↑	4,400	5,101
10			次世代育成支援対策推進経 費(01-03-04-01-218-52)	輝け！いがっ子応援プランに係る実績及び実施計画の公表。平成27年度から5 年間で計画期間とする子ども・子育て支援法による子ども・子育て支援事業計画 を策定し、実績及び実施計画の公表を予定しています。	↓	3,537	446
11			私立保育所等運営費(01- 03-04-02-221-51)	私立保育所・広域入所児童の運営費	↑	1,115,877	1,180,539
12			私立保育所等補助金(01- 03-04-02-222-51)	障がい児や低年齢児児童の処遇向上など、保育士の加配を行ったり、多様化す る就労状況に対応する保育を実施します。	↓	106,303	44,645
13			安心こども基金事業(01-03- 04-02-222-52)	保育の質の向上のための研修事業の充実を図ります。	皆減	21,636	0
14	3	3	保育所管理運営事業(01- 03-04-04-229-01)	公立保育所(園)20箇所の運営・管理に係る事業	↑	605,952	1,056,744
15			保育所管理運営事業(01- 03-04-04-229-01)	からだそだて事業(平成26年度補正予算 地域住民生活等緊急支援のための交 付金事業(地方創生先行型))	新規	0	10,000
16			仮園舎管理経費(01-03-04- 04-229-02)	しろなみ保育所改築工事に伴う仮園舎の管理経費	皆減	2,080	0
17			施設改修事業(01-03-04- 04-229-52)	公立保育所(園)20箇所の消防設備、空調設備、その他施設改修を行います。	↓	18,563	12,124
18			しろなみ保育所整備事業 (01-03-04-04-232-54)	しろなみ保育所整備事業に伴う手数料及び管理用備品の購入経費	皆減	7,259	0
構成事務事業 合計						2,107,624	2,484,941

構成事務事業の重点化

平成27年度施策評価シート

基本情報	コード	名称	担当部署	コード	名称	連絡先
	政策名等	13	子どもを安心して産み、育てられるまちづくり	131100	健康福祉部福祉相談調整課	0595-22-9658
	施策	1302	ひとり親家庭の自立支援の推進	評価責任者・役職名	健康福祉部 部長 増田 基生	
	再生の視点(何を、どうする)	・ひとり親家庭が地域の中で安心して子育てと就労との両立が図れるよう、母子自立支援員や関係機関との連携のもと、きめ細やかな支援に努めます。				
施策の方向	個々の抱えている問題に応じるため、母子自立支援員を配置し、経済的な面、就業の面、生活全般においての相談事業を実施するとともに、各関係機関と連携し、貸付制度の活用促進や自立に向けての相談指導体制の充実を図ります。					

指標	成果指標名	指標の説明	現状値 (平成25年度)	平成26年度	平成27年度	平成28年度
	ひとり親家庭からの相談解決率(%)	離婚等の相談への支援により、自立につながった割合	87.8	目標 88.0 実績 79.0	89.0	90.0

改善・取組方向	平成26年度		平成27年度	
	前年度の取組内容と残された課題	(平成25年度の取組内容と残された課題) 厳しい社会情勢の中、自立できない母子・父子家庭に対し、母子自立支援員による経済面、就業面、生活全般にわたり、相談業務を通じて自立支援を行っています。自立できない母子や父子が増えていることから、自立に向けた支援体制の充実が必要です。	(平成26年度の取組内容と残された課題) ○母子・父子自立支援員設置(継続) ○相談件数(母子380件、父子10件) ・就労相談42%、家庭紛争17.6% ○ハローワーク伊賀との連携による就労支援を行いました。 ○就労支援者24名中19名が自立に繋がった。残りの5名は継続して支援を行っています。	
改善ポイントと具体的な取組	ひとり親家庭が地域で安心して子育てと就労との両立が図れるよう、母子自立支援員や関係機関との連携のもと、きめ細やかな支援に取り組みます。	ひとり親家庭が地域で安心して子育てと就労との両立が図れるよう、母子自立支援員や関係機関との連携のもと、きめ細やかな支援に取り組みます。		

平成27年度施策評価シート

基本情報	コード	名称	担当部署	コード	名称	連絡先	
	政策名等	13	子どもを安心して産み、育てられるまちづくり	130900	健康福祉部健康推進課	0595-22-9653	
	施策	1303	乳幼児期から生育・食育を含めた知識の普及と途切れのない子育て支援の体制づくり	評価責任者・役職名	健康福祉部 部長 増田 基生		
	再生の視点(何を、どうする)	・乳幼児期からの正しい生育・食育などの知識を身につけることは、生涯を健康で健やかに過ごすために重要なことであり、子育て支援センターやこども発達支援センターと連携し、子育て支援のための教室の開催・継続した個別訪問などを実施することで途切れのない子育て支援体制を整備します。 ・安心して妊娠できる環境を整備することにより、出生数の増加を促進します。					
施策の方向	子育て支援センターやこども発達支援センターと連携し、子育て支援のための生育・食育等の教室の開催や、継続した個別訪問などを実施することで途切れのない子育て支援を実施します。また、妊娠・出産・育児を通じた子育て支援の一環として不妊治療費の一部を助成します。						

指標	成果指標名	指標の説明	現状値 (平成25年度)	平成26年度	平成27年度	平成28年度	
	子育てにいらいらを感じている人の割合(%)	3歳児健診時のアンケート調査	25.4	目標	24.0	23.0	20.0
				実績	25.9		

改善・取組方向	前年度の取組内容と残された課題	平成26年度	平成27年度
	改善ポイントと具体的な取組	平成26年度	平成27年度
	(平成25年度の取組内容と残された課題) 子育て支援センターやこども発達支援センターと連携し、子育て支援のための生育・食育等の教室開催や、継続した「こんにちは赤ちゃん」訪問などを実施して、途切れのない子育て支援を実施します。今後は、「途切れのない子育て支援」の体制づくりの強化が必要です。	(平成26年度の取組内容と残された課題) ○こんにちは赤ちゃん訪問件数(660件) ○特定不妊治療助成(60件) ○幼児健診をすることにより、発育発達の状況を把握し、早期発見、早期支援に繋がりました。 ・4ヶ月児健診(600名) ・10ヶ月児健診(635名) ・1歳6ヶ月児健診(661名) ・3歳児健診(694名) ○妊娠から出産までに必要な支援を行いました。 ・ウエルカムベビー教室(4回開催 参加者:妊婦53名、家族54名) ・妊婦への面接相談や訪問指導(面接10回、訪問5回) ・妊婦健康診査(受診者数 延べ7500名) ○心身の発育、発達を支援するにこにこ広場を開放しました(利用者 610名) ○親子で食育や生活習慣を考える「げんキッズ教室」を開催しました(12回開催 延べ478名参加)	
	妊娠・出産・育児・子育てが一貫して支援できる「途切れのない子育て支援」を目指して、支援体制の整備に取り組みます。	妊娠・出産・育児・子育てが一貫して支援できる「途切れのない子育て支援」を目指して、支援体制の整備に取り組みます。	

(続紙)

施策	1303	乳幼児期から生育・食育を含めた知識の普及と途切れのない子育て支援の体制づくり
----	------	--

構成 事務事業の 重点化	No	26 重点	27 重点	事務事業名	事業概要	コスト の方向	H26 決算見込	H27 予算	
	01	2		母子健康診査事業(01-04-01-01-241-01)	1歳6ヶ月児健診・3歳児健診	↓	11,453	10,604	
	02	3		ブックスタート事業経費(01-04-01-01-245-01)	赤ちゃんと保護者に絵本を開く楽しい体験と、心触れ合う機会を作る事業。こんには赤ちゃん訪問時に、親子が絵本を通してふれあい、語り合い、絆を深めるため、また絵本の読み聞かせの大切さを伝え配布しています。	皆減	605	0	
	03		3	ブックスタート事業経費(01-04-01-01-241-03)	赤ちゃんと保護者に絵本を開く楽しい体験と、心触れ合う機会を作る事業。こんには赤ちゃん訪問時に、親子が絵本を通してふれあい、語り合い、絆を深めるため、また絵本の読み聞かせの大切さを伝え配布しています。	新規	0	304	
	04		1	母子保健事業(01-04-01-01-241-51)	妊婦の健康管理、妊産婦及び乳児死亡の低下、流産の防止並びに心身障害児の発生の予防に期するため、妊娠後の標準的な健診回数・健診項目の費用に対し全額公費負担し、妊婦家庭の経済的負担を軽減します。	→	70,434	70,098	
	05			不妊治療助成事業(01-04-01-01-241-52)	少子高齢化が進行している伊賀市において、少子化に歯止めをかけることと、子育て支援のための施策とするため、特定不妊治療を受けた夫婦の経済的負担の軽減を目的に特定不妊治療に要した費用の一部を助成します。	↑	5,213	6,000	
	06	1		乳幼児の育成指導事業(01-04-01-01-241-02)	母子保健にかかる教育相談経費	↓	3,609	3,498	
	07		2	乳幼児の育成指導事業(01-04-01-01-241-02)	地域で見守りおやこ防災事業(平成26年度補正予算 地域住民生活等緊急支援のための交付金事業(地方創生先行型))	新規	0	1,758	
構成事務事業 合計							91,314	92,262	